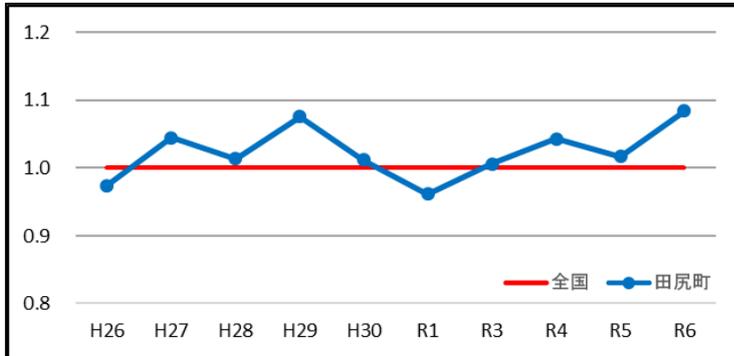


□ **結果概要** **全国平均を上回った**

文脈に即して漢字を正しく書くことや、文の成分の順序や照応などの文の構成について理解することができている。また文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができている。一方で、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題があり、指導の充実が求められる。

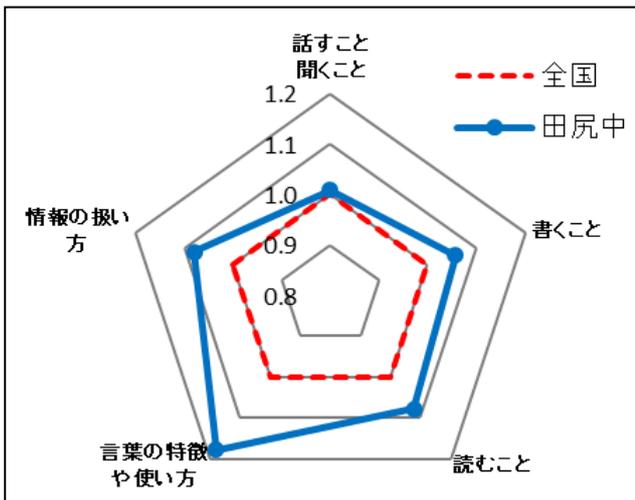
□ **正答率の状況** (全国平均正答率を1.0とした場合の田尻町の平均正答率)

◇ 正答率対全国比 経年比較

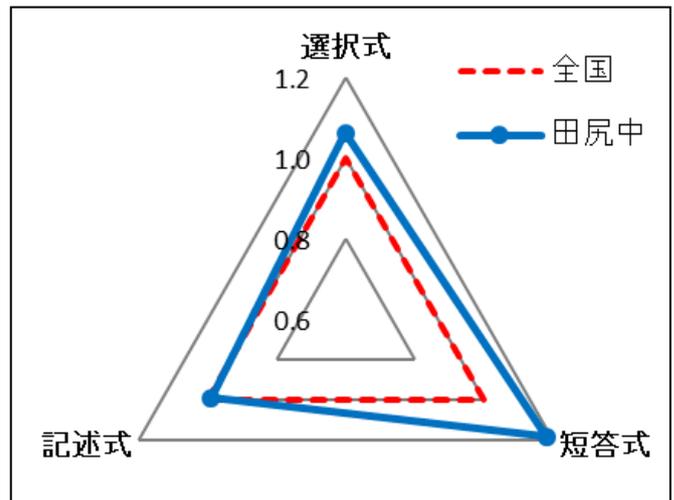


「言葉の特徴や使い方」については、全国平均を大きく上回った。また昨年度課題であった「読むこと」「情報の扱い方」は大きな改善が見られた。しかし「話すこと聞くこと」については課題が見られる。

◇ 正答率対全国比 領域別比較



◇ 正答率対全国比 問題形式別比較



□ **具体的な生徒の状況等** (○：成果 ●：課題)

○**具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題について**

正答率は92.1%で、全国平均を17ポイント近く上回った。具体は例示の際など、抽象は共通する要素を抽出してまとめる際など、状況や必要に応じて使い分けることについて理解している。今後は具体と抽象の概念理解をさらに深めるとともに、具体的な事例を抽象化してまとめたり、抽象的な概念について具体的な事例で説明したりする活動を取り入れることが必要である。

○**文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる問題について**

正答率は68.3%で、全国平均を14ポイント上回った。語順や語の照応によって表現がどのように変わってくるかを様々な文型について考え、理解することができている。今後も語順や語の照応に着目することで、互いに伝え合いたいことを相手によりよく伝えることができることを気付かせることが重要である。

●**意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題について**

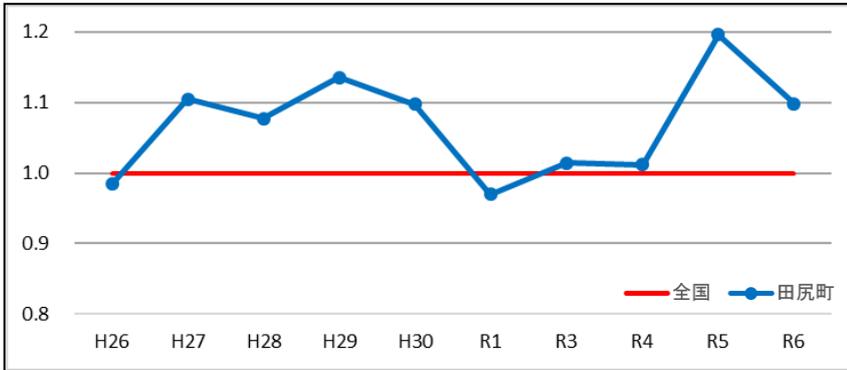
正答率は36.5%で、全国平均を7ポイント近く下回った。相手の考えを理解したり自分の思いや考えを表現したりするためには、話や文章の中に含まれている情報と情報とがどのように結びついているかを捉えたり、整理したりすることが必要となる。少人数での話し合いは、対話やグループ活動など、日常生活や社会生活で頻繁に行われることを踏まえて、生徒が日常生活や他教科等での話し合いに活かすことを意識しながら学習できるように指導する必要がある。

□ **結果概要** 全国平均を上回った

「図形」「データの活用」における知識・技能は概ね習得している。一方で文字を用いた式で数量及び数量の関係性を捉え説明することや、一次関数として捉えられる二つの数量について変化や対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察・表現することに課題があるため、指導の充実が求められる。

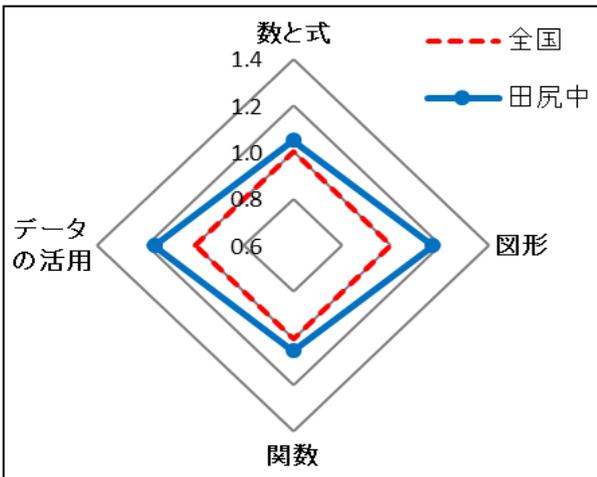
□ **正答率の状況** (全国平均正答率を 1.0 とした場合の田尻町の平均正答率)

◇ 正答率対全国比 経年比較

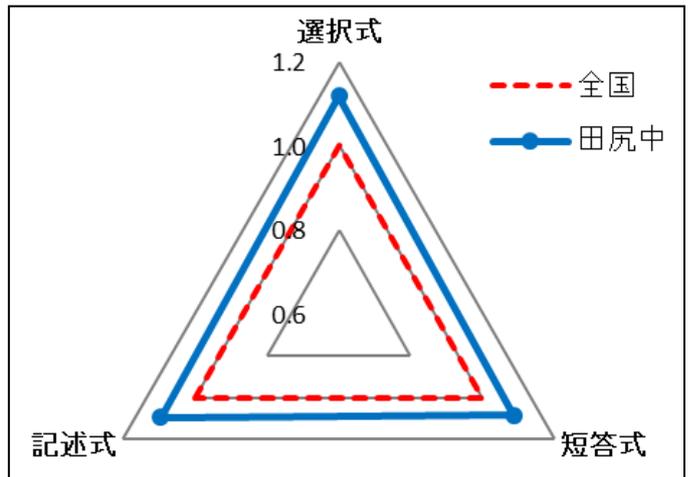


「図形」と「データの活用」の領域について全国平均を大きく超えている。「数と式」については文字を用いた式を目的に応じて変形することに課題があった。「関数」については表・式・グラフの相互関係について理解を深める必要がある。

◇ 正答率対全国比 領域別比較



◇ 正答率対全国比 問題形式別比較



□ **具体的な生徒の状況等** (○ : 成果 ● : 課題)

○複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる問題について

正答率は 71.4%で、全国平均を約 23 ポイント上回った。多くの生徒が四分位範囲の求め方を理解している。今後、四分位範囲を比較する活動においては、日常生活や社会の事象と結び付けて考えることで、箱ひげ図の必要性や良さをさらに深めていくことが大切である。

○グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題について

正答率は 88.9%となり、全国平均を 12 ポイント上回った。このことから、傾きや交点などの数学的な結果を日常生活の事象に即して解釈することができる生徒が多いと考えられる。今後は、一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現する活動につなげるため、グラフだけでなく式や表も適切に選択できるようにするなど、より良い考察の手立てを工夫する必要がある。

●一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかを、みる問題について

正答率は 55.6%であり、全国平均を約 10 ポイント下回った。一次関数の式からグラフの特徴を判断するには、比例のグラフの特徴を捉え直す必要がある。具体的には比例のグラフを上下に移動させたり、比例定数の絶対値を変えたりすることでグラフの切片や傾きがどのように変化するかを見取る活動が必要である。